



市報まつら No. 75
平成24年3月1日発行

PROFILE

けいすけ
渡口 啓介さん

今福町木場に住む 24 歳。
趣味は水泳と料理。特技は桑田佳祐のものまね。



■今月の表紙

2月3日に行われた毎年恒例の今福神社の節分祭でのひとコマ。

この日は、「福っ子」として廣田^{あおい}蒼^{あやか}さん（今福・北東2、14）と福井彩伽^{あやか}さん（今福・人柱、14）が、羽織袴姿で「鬼は外！福は内！」と元気に豆をまきました。同町内の3カ所で出張豆まきも行われました。

※次は、崎田^{てつゆき}哲之^{てつゆき}さん（今福・寺上）にバトンタッチ！

○目標・夢

地域の皆さまに看護を通して貢献できたらと思います。現在は、看護について勉強していますが、近い将来、「健康」や「食」など、生きていくために必要なことを人々に伝えることができる事業を展開したいと考えています。松浦市の皆さまが少しでも長生きできるように、これからもっと勉強に励み頑張りたいです。

○職業・仕事内容

看護学校に通いながら病院に勤務しています。母から仕事の話を聞いているうちに魅力を感じ、看護の道を目指そうと思いました。周りの方からは大変な仕事だと言われますが、学校で看護について学び、病院でも実際に目で見て学ぶことができるので、日々勉強できるうれしさを感じています。

■人の動き

※（ ）は、前月との比較

人口	25,425
	(- 21)
男	12,156
	(- 13)
女	13,269
	(- 8)
世帯数	10,310
	(- 2)

住民基本台帳から

平成 24 年 2 月 1 日現在

■編集室から

3月から連想される言葉として「卒業」という言葉があります。映画や音楽の中にも「卒業」を題材とした作品が数多くあるように、人生の大きな節目を表す印象的な言葉の一つであり、心に残る出来事となります。

また、「卒業」という言葉は、物事に一つの区切りを付けるときの比喩として用いたりもします。言葉の響きには、どことなく物悲しく寂しい雰囲気もあります。成長の証としてその後の人生の糧となり、これまでの人生の歩みを美しく飾ってくれるものです。

この時期は、学生さんにとって期待と不安が交錯する何かと落ち着かない時期だと思えますが、「卒業」を一つの区切りとして、臆することなく、しっかりと前を向いて頑張ってください。

この時期は、学生さんにとって期待と不安が交錯する何かと落ち着かない時期だと思えますが、「卒業」を一つの区切りとして、臆することなく、しっかりと前を向いて頑張ってください。



イラスト (健)

長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 君の夢 はばたけ今 ながさきから

松浦市は「なぎなた競技」の開催地です。



この広報紙は環境と自然保護のため再生紙（100%）を使用しています。

編集発行／松浦市まちづくり推進課秘書広報係
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地
福島町からは47-3011
ホームページアドレス <http://www.city-matsura.jp>

☎0956-72-1111 FAX 72-1115
鷹島町からは48-3011
Eメールアドレス matsura@city-matsura.jp
印刷／有限会社タイセイ印刷